

講義名	職業指導Ⅱ（経営学科）		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	中山 一郎		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 1時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
「職業指導Ⅰ」に続く科目として、本科目は商業高校において就職を志望する生徒に対して職業選択の支援を行うための手法を学ぶことを主題とした授業です。

商業高校における職業指導は単に企業と生徒とのマッチングだけにとどまらず、それぞれの生徒の自己実現に向けて、人間としてのあり方や生き方を考えさせるものでなければなりません。そのためには高等学校における教育活動全般を通して組織的・計画的・系統的に指導する必要があります。本科目では職業指導の沿革や歴史、知識やスキルを理解することはもとより、主体的に職業を選択する能力を培い、望ましい職業観や勤労観を育成するため、今日的な諸課題をも踏まえて、理論と実践の両面から学んでいきます。

到達目標

商業高校の教員として、生徒一人ひとりのよりよい社会的自己実現に向けて人間としてのあり方や生き方を探求させるための知識やスキル、さらには教育活動全般を通して組織的・計画的・系統的に推進するために必要とされるマネジメント力を修得し、実際の教育現場において活用できるようになることを目標とします。

提出課題

- ①毎回、授業で学んだ内容を確認する「ミニテスト」か「ミニレポート」。
- ②15回の授業全体をととして学んだ内容を確認する「課題レポート」。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

- ①「ミニテスト」か「ミニレポート」も②「課題レポート」も採点后に講評、回答、解説をおこないます。

評価の基準

評価の方法
①ミニテストかミニレポート（75%）
②課題レポート（15%）
③平常点（10%）
注）遅刻、私語、居眠り、スマホいじりなどの迷惑行為は減点の対象とします
※ ①②③を総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

本科目は、教職課程の高一種（商業）免許の教科に関する科目「職業指導」の必修科目（「職業指導Ⅰ」「職業指導Ⅱ」の両方を修得）です。

教科書	. エピソードの就活 ～キャリアカウンセラーが教える7つのステップ～、中山 一郎	見洋書房	1,900円（税別）	978-4-7710-2829-6
-----	--	------	------------	-------------------

プリント資料及び参考文献

プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介します。

授業計画

1. プロローグ ～商業高校における職業指導の必要性と重要性～
2. 生徒との間に有効な関係を築き上げるための基本スキル
3. 女子生徒・障がい者など特定のニーズを持つ生徒への対応スキル
4. 職業指導における倫理と徳の遵守と法律規制の把握
5. 教員自身の自己研鑽・自己啓発と学習
6. キャリアアペロップメントの理論とモデル
7. アセスメントの実施・解釈・活用方法
8. テクノロジーの効果的な活用方法
9. キャリア情報や労働市場情報の見つけ方と活用方法
10. 求職・就職活動の支援スキル
11. 求職・就職活動トレーニングの手法
12. 職業指導プログラムの企画・立案・実施・運営の仕方
13. 組織内（学校内）における職業指導教育の普及とPR活動
14. 職業指導プログラムをプレゼンテーションする
15. エピローグ ～改めて商業高校における職業指導の必要性と重要性～

* 受講者数や受講生の状況に応じて講義内容やスケジュールは変更される可能性があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業期間中は基本的には毎日1時間程度、教科書はもとより新聞や関連する本や雑誌を読んだり、あるいはTVニュースやネットを見たりするという習慣をつけてください。その中で特に「職業」「就職」「キャリア」「労働」「教育」「商業」などといったキーワードを含む記事やニュースを必ずチェックするようにしてください。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
具体的な事例やケーススタディーを紹介します。

備考

教職課程の高一種（商業）免許の教科に関する科目です。これからの商業高校の教員は「教科指導」や「生徒指導」もさることながら「職業指導（進路指導も含めて）」ができるということは必須条件です。受講生は「職業指導Ⅰ」を受講しながら、自分自身のキャリアに関する理解、職業に関する理解、社会に関する理解をも併せて深めていってほしいと思います。